

経営比較分析表（平成28年度決算）

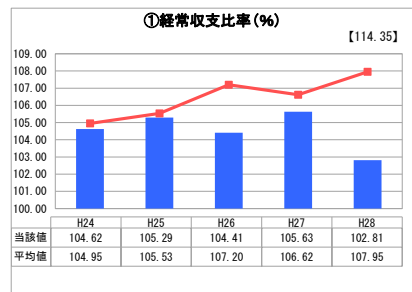
岡山県 奈義町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.89	98.00	4,310	

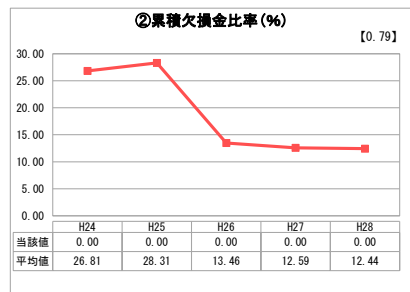
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,163	69.52	88.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,978	31.00	192.84

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

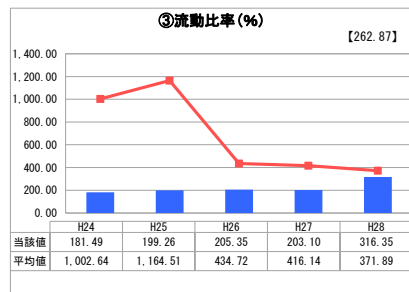
1. 経営の健全性・効率性



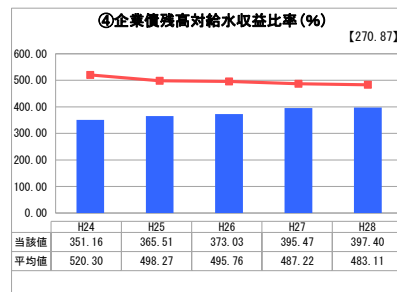
「経常損益」



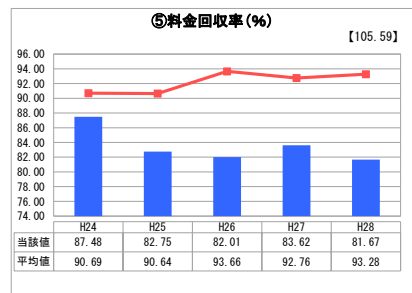
「累積欠損」



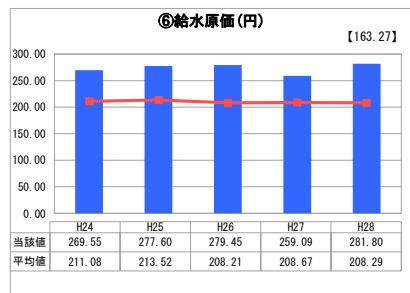
「支払能力」



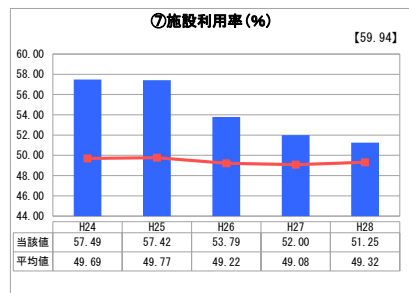
「債務残高」



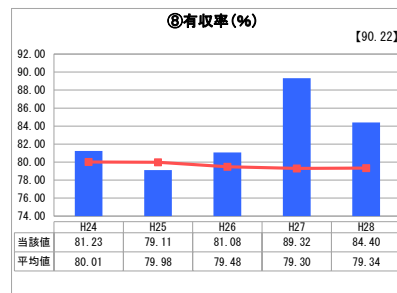
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

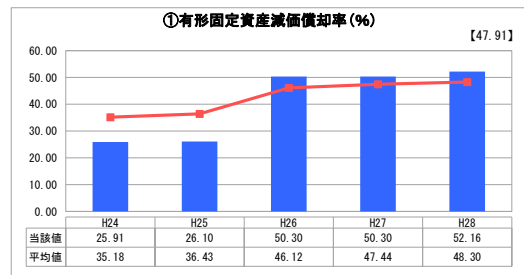


「施設の効率性」

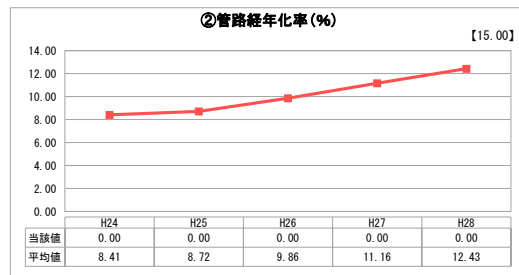


「供給した配水量の効率性」

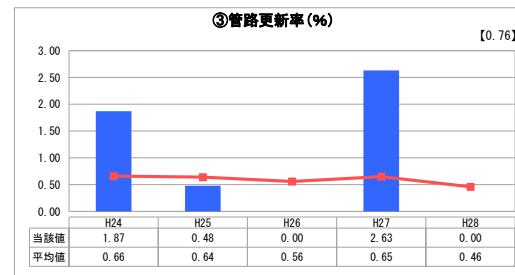
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率 100%を超えてはいるが、料金回収率の増加を図るなど改善の余地がある。
- ・累積欠損比率 現在累積欠損はない。
- ・流動比率 複数年度にまたがる事業により当年度は、投資活動によるCFに不足を生じなかったものの、年によって大きく率が異なる。
- ・企業債残高対給水収益比率 他の類似団体より低い水準を保っている
- ・料金回収率 他会計補助金に依るところが大きいが、これ以上の給水単価の値上げ等は理解が得にくいと考えられる。
- ・給水原価 他の類似団体よりも高い。経常経費の見直しと有収率の増加を目指す。
- ・施設利用率 他の類似団体と比較して若干利用率は高いものの、人口減、節水等により利用率は徐々に低下しているが、万が一に備えて現状規模の施設は必要と考える。
- ・有収率 わずかずつではあるが増加傾向。今後も適切な時期に財政規模に応じた施設更新のほか、継続的な漏水調査を行って有収率の増加を目指す。

2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率 他の類似団体と比較して若干、償却率が高いが、会計基準改正に伴う移行処理によるものである。管路経年化率が0%であることから、順次、老朽管の布設替を行っている。
- ・管路更新率 老朽化した管については年次計画において順次布設替えを行っているところである。年度によって更新率が異なるのは、複数年度にまたがる更新事業計画の調査、準備年度であったため。

全体総括

経常収支比率としては100%を超えており、また、事業数も多いが、経営状態としては給水収益だけの経営は難しい状態である。今後、料金回収率の上昇、適切な管路更新や漏水調査による有収率の上昇、経常経費などの見直しを行うなど、策定している経営戦略を踏まえた改善を図る余地がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。